

脳をしっかりと守ろう

～脳梗塞・認知症の予防と治療～

日時 平成24年 **10月2日(火曜日)**
午後1時から午後4時まで

会場

講演

『脳梗塞の予防と治療～何をしたらよいか～』

東京都健康長寿医療センター 神経内科

部長 金丸 和富

『さっそく診断、さっそく治して!』

東京都健康長寿医療センター 放射線診断科

部長 徳丸 阿耶

『もの忘れの病気との付き合い方』

東京都健康長寿医療センター 精神科

医長 古田 光

司会

東京都健康長寿医療センター

副院長 小林 秀

会場

文京シビックホール 大ホール
(所在地)東京都文京区春日1-16-21

文京シビックホール

バス停
春日駅前

文京区民
センター

春日通り

春日駅

大江戸線

至飯田橋

春日町交差点

至池袋

後楽園駅

丸ノ内線

至御茶ノ水

東京ドーム

至飯田橋

南北線

外堀通り

三田線

至四ッ谷

神田川

至東京

至四ッ谷

JR 水道橋駅

至神保町

(最寄駅)

東京メトロ丸ノ内線・南北線

後楽園駅 徒歩3分

都営地下鉄大江戸線・三田線

春日駅 徒歩3分

JR中央線・総武線

水道橋駅 徒歩10分

当日先着1,800人 入場無料 事前申込不要

後援 文京区
主催



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

☎03-3964-3241(内線3008)広報普及係

<http://www.tmghig.jp/>

手話通訳あり

脳をしっかりと守ろう ～脳梗塞・認知症の予防と治療～

「脳梗塞の予防と治療～何をしたらよいか～」

脳梗塞は、脳の血管が、血のかたまり(血栓)でつまって起こる病気です。突然、発症するのが特徴で、意識がおかしくなったり、ろれつが回らず、手足が動かなくなったりします。脳梗塞は、後遺症を残すことが多く、介護が必要となります。したがって、まず、脳梗塞にかからないように予防することが、大切です。脳梗塞には、大きくわけて、脳血栓(のうけっせん:脳の血管が動脈硬化で細くなり、血栓でつまる)と脳塞栓(のうそくせん:主に心臓に血のかたまりができて、血流によって脳の血管をつまらせる)があります。それぞれの脳梗塞の原因は、違うものであり、予防の方法が異なります。一方、もし、上記のような症状が、突然、おこってしまったら、どうすればよいでしょうか。その場合、しばらく様子を見るのではなく、すぐ、救急車を呼んで、病院にかかる必要があります。最近、発症3時間以内であれば、脳の血栓を溶かす薬が使えるようになりました。出血の危険があり、注意が必要ですが、高齢者でも効果があり、その薬を使うチャンスを見逃さないようにしましょう。

東京都健康長寿医療センター 神経内科 部長 金丸 和富

「さっそく診断、さっそく治して！」

世界に冠たる長寿大国日本では、100歳以上の長寿―「百寿者」―は、なんと5万人いらっしゃいます。約3割の方は御元気に、御自分のことはなんでも御自分でなさるとの由！素晴らしいですね。

さて、そうはいつでも幾多の荒波を越えてきた黄金世代はまた、新たな試練を乗り越えなければなりません。曰く脳卒中、曰く認知症、です。脳卒中は時間が勝負ということは皆様よく御存じかと思えます。一方、認知症といえは、一つ二つどころではない数十にも及ぶ原因となる病気があります。いかに早く、いかに正確に診断をさせていただき、できるだけ正しい治療、看護、介護に直結させるかが、私達に問われている最重要課題です。適切な時期の正しい診断で、治せる病もあることをお示ししながら、最新の画像診断の御紹介をさせていただきます。

東京都健康長寿医療センター 放射線診断科 部長 徳丸 阿耶

「もの忘れの病気との付き合い方」

もの忘れの病気～いわゆる「認知症」～の原因はたくさんあります。その中の一部には「治る」認知症もありますが、残念ながらいまだアルツハイマー型認知症をはじめとする神経変性疾患による認知症の根本的な治療法は開発されていません。ですから、予防と、なった後の付き合い方が大切です。やみくもに認知症を恐れていてもはじまらないので、まずは正しい知識を持ちましょう。この講演会では、アルツハイマー型認知症を中心に、予防法・治療法・介護の基本をわかりやすく説明します。

東京都健康長寿医療センター 精神科 医長 古田 光